

# Stratos™ AztecMonster 3.5" IDE to SCSI 変換カード取扱説明書

本製品は、ATAハードディスクをSCSIインターフェースに接続できるように変換するアダプターです。取扱説明書の内容をよく御理解の上ご使用下さい。初期不良品に関しては販売店またはARTMIX社で無償にて同様の製品と交換いたします。ただし、以下の事項に関しては保証規定の対象外となります。

- ・取り扱いの誤り、不注意による破損、損傷。
- ・火災、地震などの天災に起因する故障。
- ・インストール後の移動、落下による破損、損傷。
- ・取扱説明書の記述から逸脱した使用による故障。

販売店および開発元はいかなる場合においても故障、損傷によって生じた直接的および間接的損害に対して一切補償いたしません。ご了承下さい。

## 製品の特徴

- ・Ultra SCSIをサポートし、転送レートは最大20MB/secになります。
- ・ドライブに密着しないで取り付けられるため、発熱の問題に強く、大容量ハードディスクでも内蔵可能になります。
- ・Macintoshでの内蔵可能な機種が広がりました。

## 製品の仕様による制限

Ultra SCSIは規格により、ケーブル長が1.5mに制限されています。このため、使用状況によってはUltra SCSIインターフェースを使用しても本来の性能が出ないことがあります。

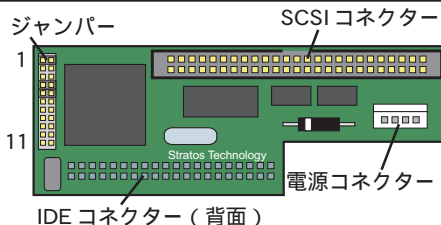
Macintoshでハードディスクを初期化して使用する場合には、HDT、B's Crew、Drive7などのフォーマッターソフトが必要です。各OSバージョンへの対応等はフォーマッターソフトのマニュアルを参照して下さい。

MacintoshのOSバージョンやWindowsのバージョンによってはボリュームの容量の制限があり、場合によってはパーティションを切らなくてはなりません。詳しい情報に関してはフォーマッターソフトのマニュアル、OSのマニュアルなどを参照して下さい。

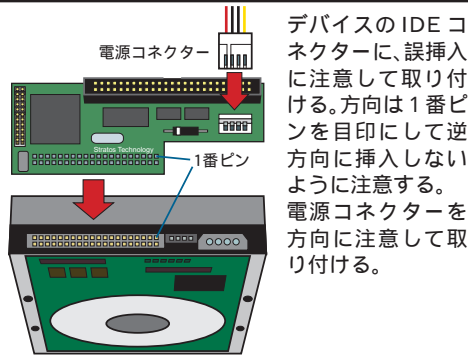
一部のハードディスクでは、コネクタの取り付け位置が異なるもの（真ん中によっている）があり、この場合には、内蔵する際に機種によっては物理的にフレームに干渉することがあります。（Mac IICI, Quadra700など）

LCシリーズ全機種、ColorClassic I/II、Centris610/660AV、PowerMac6100、DuoDockには物理的に筐体と干渉します。外付けでご使用下さい。

## AztecMonster 外観図



## 取り付け方法



デバイスのIDEコネクタに、誤挿入に注意して取り付ける。方向は1番ピンを目印にして逆方向に挿入しないように注意する。電源コネクタを方向に注意して取り付ける。

## カード上のジャンパー設定

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
SCSI ID	ID=0										
	ID=1	●									
	ID=2 (出荷時)		●								
	ID=3		●	●							
	ID=4				●						
	ID=5				●	●					
	ID=6				●	●	●				
	ID=7				●	●	●	●			
デバイスモード	ATA HDD (出荷時)					●	●				
	デバイスモードピンは変更しないで下さい										
ON (出荷時)	ON (出荷時)										●
OFF	OFF										

● = JUMPER ON □ = JUMPER OFF

PowerMac7200/7500/7600のファーストHDDベイには物理的に筐体と干渉します。セカンドHDDベイを使用して下さい。

MacPlusなどのUnitAttentionに対応しない初期のSCSIインターフェースでは起動DISKとしては使用できません。

## インストール方法およびジャンパー設定

1. 接続するIDEデバイスをマスターに設定します。（設定方法は各デバイスのマニュアル等を参照して下さい。）
2. ボード上のジャンパーを設定します。SCSI ID、ターミネーターを使用状況に応じて設定して下さい。
3. IDEデバイスのコネクタに本製品を差込みます。ピン番号1を確認して下さい。また、IDEコネクタの両側に余裕がありますので誤挿入に注意して下さい。
4. 電源コネクタに電源ケーブルを取り付けて下さい。
5. 全ての電源を切った状態で本製品およびIDEデバイスを本体に取り付け、ホストに接続して下さい。（SCSIへの接続及び設置については、SCSIホストカード、ホストコンピュータのマニュアル等を参照して下さい。）SCSIケーブルが届かなくなる場合があります。この場合は各自で長めのケーブルをご用意下さい。
6. 本製品は絶縁板が取り付けられておりますが、IDEデバイスなどの金属部分にふれていないか十分に確かめてから電源を入れて下さい。

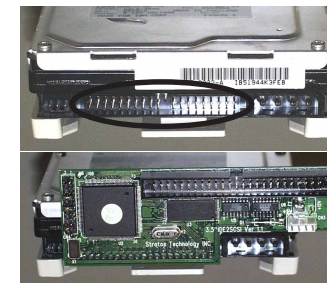
## 取り付け例

取り付けの例を写真に示します。内蔵ができない機種の場合は外付けケース等を利用して下さい。

## お問い合わせ

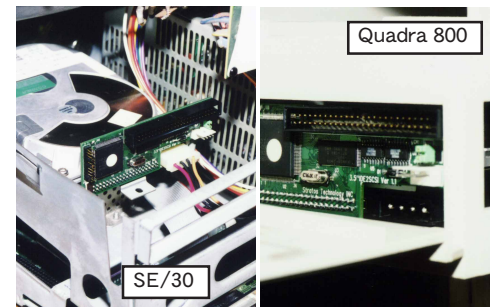
e-mail アドレス : support@artmix.com  
まで。www.artmix.com もご覧下さい。

## 一部のハードディスクのコネクタの例



IDEコネクタが真ん中によっているため、若干取り付け位置がずれるものがある。（動作には全く問題はありません。）

## Macintosh の取り付け例



## DOS/V タワー筐体の取り付け例



## 本製品の仕様

対応IDEデバイス	IDE Hard Drive (ATA)
ホスト側インターフェース	SCSI-1, SCSI-2, SCSI-3
外形寸法	100 X 36 X 23
本体重量	約35 g
使用温度範囲	0 ~ 40
使用湿度範囲	20 ~ 80 %RH (ただし結露しないこと)
電源電圧	DC +5 V ± 5 %
消費電流	最大300 mA